

【注意事項】

令和3年度より、総合型選抜Ⅱの「課題解決型記述問題」は事前課題として、提出した答案そのものの採点を行わず、答案の内容について個人面接で試問している。以下に記載する出題の意図は、**個人面接における評価のポイントではない**ことに注意のこと。

数学

問題のテーマは、小学校3・4年生で学習する「そろばん」である。計算原理の説明として用いるそろばんの種類（玉数）は問わないが、「進数」の考え方と四則演算についてどのように説明するか、が答案作成上のポイントとなる。

説明の対象者は、解答者自身がこれまでに学習してきた数学の知識を持つことを前提としている。説明内容は、そろばんの計算原理と合わせて「進数」の考え方や四則演算における利点についての理解を促すものになっているか、それらを論理的かつ適切に記述する表現力があるか、などをポイントとする。

なお、解答に含まれていることが望ましいとした「新たな計算方法のアイデア」は、計算機すなわちコンピュータへの応用を意識したものであることを期待する。

理科

問題のテーマは、「熱の伝わり方」である。日常のなかで見られる「熱が伝わる」という現象がおきる原理を、高校「物理基礎」の「熱と温度」において学習した内容などを元に説明できるか、が答案作成上のポイントとなる。

小・中学・高校での学習内容と日常生活で触れる事象とを関連づけながら理解の深さを示しているか、説明の方法・内容は、対象（小学校 高学年）を考慮した上で理解を促すものになっているか、それらを論理的かつ適切に記述する表現力があるか、などをポイントとする。